

家族で子育て

26 Q & A



Q

習い事は楽しいと言う園児のわが子ですが、迎えにいくといつも不機嫌なので続けさせるか迷っています。

子供はお母さんが大好きで「お母さんが喜ぶこと」をやろうとします。無理していいか見てあげましょう。

A

お母さんの喜ぶことを

就学前から英語やスイミングなど習う子供が多くなりました。できるだけよい教育環境を与えたいという親心からでしょう。

不機嫌なのは、まだ遊びたいのに習い事に拘束されると感じているからかもしれませんね。教室は、幼児が飽きずに楽しく学べるように工夫されていて、そこで「楽しい」と思えるようなら問題ないでしょう。

でも子供は「お母さんが喜んでくれるからがんばる」という気持ちが強いです。お母さんは、よく「この子がやりたいと

言う」と言われますが、子供はお母さんが喜ぶことをしたいので、大人が勘違いしないよう注意する必要がありますね。

ある園長は、毎週、早退した翌日にきまつて友達とトラブルを起こす子供がいたので、調べると、前日のレッスンで疲れていたことがわかったそうです。

学びの土台作る時期

文字を早い時期から書けるようになって、伝えたい内容がないと作文はできませんね。数字も同じで、「居間に何人いるから何個ミカンを持ってきたか」というように、生活に密着

するとよく理解します。幼児期は、学びの土台となるコミュニケーションが大切です。

子供の発達は階段を一段一段上るようなものです。運動能力にしても十分にハイハイしないで立歩きのようになると、よく転びます。ハイハイでつく筋肉と、立歩きでつく筋肉は違いますから、ハイハイが不足しているようだとなつん這いになる遊びをする園もあります。

小学生までは親御さんの敷いたルールを進みがちなので、子供が無理をしていないか、好きなものは何かを一緒に探そうにしましょう。